とて歳出数目の大綱を説明

古田/杉相 海軍臨時 一七千五百萬團の減少とな 一七千五百萬團の減少とな 一七千五百萬四の減少とな

田海相より提案理由を説明一、昭和十四年度歳入、歳

「南家四日發國通」 資陽西南方山岳地區に三日朝來展開された第二期發減戰は濟開された第二期發減戰は濟開された第二則發減戰は濟明された第二則發減戰以濟

近に進出、また嚢に永淳的とない。

今次の大包園殲滅戦の の一端を物語る永淳西方鬱 の一端を物語る永淳西方鬱 が松本、手島、深頻等の語 が松本、手島、深頻等の語 をでの戦果が四日左の如く

近で鬱江を渡河猛進中の上近で鬱江を渡河猛進中の上

(上) 建國會館式場

E

型の製作に伴ふ特達資金の 場響を相當增大するのであるが、今年度に於ては特産 切つて依然たる不成績であるため特産資金需要の如き もため特産資金需要の如き は零ろ開散である 位つて年末決済資金の繁

當思ひ切つだ對策を講する膨脹阻止並にその吸收に相 の要ある事が各方面に於て

失言問題

他の

懲罰

委員會

委員長に中井氏

藤隆夫氏の失言問題を審議 る資料を政府に要求

國の功勞者に

恩賞

氏(政人)を五選した後裔 (新京枫通)衆議院活開委 (政人)を五選した後裔 氏委員長松木弘氏(政人) の農林参與官就任に伴ふ後 の農林参與官就任に伴ふ後

ママー時二十分散會六日は午 一時より第二回委員會を ママー時より第二回委員會を

前後篇

一舉封切

拜受の光榮五百七十八

第二次臨時敍勳發表

五 和整 文本 全选 价值 所

新京日日で 水和十 17 5 A 二一十一門門 左 五五十十十 強 領銀門

世界

徭

戦

結晶

に誇る大

對策を要望

田を迎べるに相應はしい今 難ある観元二千六百年記念 致命傷を負はせ、こゝに光 致命のと達成、蔣介石に一大

一兵の拿い懸窓と剛志が潜ん 東の拿い懸窓と剛志が潜んの 東をもつて綴られる皇軍將 をとよりこの蔭には幾多血 はかりの存大なる城東を展開、 をよりこの蔭には後多血 をよりこの蔭には後多血 をよりこの蔭には後多血 をよりこの蔭には後多血

大ものといふべきである 戦により一大鐵鎧を下され である たものといふべきである 徹底的打撃を蒙つた敵の狼 の一大結晶である、かくて の一大結晶である、かくて の一大結晶である、かくて は りない正に世界に誇る今次作

往 来

節

惠子

水町

集化子

沙見

旨發表し

日英メリヤ 四日 愛國 大勝定延長 通)英國政府は四日日英メリヤス協定 英國政府は四日日英メリヤス協定 の日 愛國政

山血河七

一餘里に及ぶ

暴兵敵十萬を屠る

野し越大なる損害を興へて 響應しつゝ果敢なる爆撃を 撃墜しつゝ果敢なる爆撃を

軍包圍殲滅戰

京 7 る迫切封篇雄大巨望待の 社入四一第 英 百合子 汐見 井 千 生活と戀愛、悦びと恭に に、魏麗に時に奔放に に、魏麗に時に奔放に 真質を目指して肚大な 真関の 頭を閉ぐ巨匠

明と踊と輕音樂

◎三重奏!!



敍勳拜受者 勳四位以上

事料採金株式會社常務理

常務理事

(東京園通) 泰議院兼算總

陸海兩相

軍事費の内容説明

· 和 和 十 五 年 度 蔵 人 、

の情勢を終合判断して計 において物資、資材を購 において物資、資材を購 である、なほ陸軍材 である。なほ陸軍材 である。 である のである のである のと大體 のである に基いて のと大體

(政局)石坂豐一(政友)篠原陸舠(民)窪井 義道

養道

養成意見を述べ採

つて可決し十

西方に向け怒濤の如き急追 職験長の指揮する諸隊は五 部隊長の指揮する諸隊は五 がは四日午後五時敗資を急

一時四分散會

動二位以上のものに對して との名簿は次の如くであり 名の名簿は次の如くであり 名の名簿は次の如くであり 者五百七十八名、賜品三名 ある建國功勞者として敍勳 大定、直ちに勅裁を得光榮 は近く國務院で拜受式が 級割二位場在國際 東德四年十二月一日 康德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 東德四年十二月一日 事 湯州石油株式會社専務理 鳥 澤 摩 州與業銀行監事 動四位 魏 宗 蓮

現滿洲計器股份有限公司 理事長

右列裁勳四位赐柱國章 康德四年五月二日 服德四年五月二日 死歿功勞者(三十二名) 元財政部次長現金屬合作 業株式會計翻理事長 業株式會計翻理事長 動二位 拱 維 國 以象盃一組

本、護邊、坂田等の諸部隊 本、護邊、坂田等の諸部隊 本、護邊、坂田等の諸部隊

敵五萬を包圍

陸鷲協力下に殱滅戦

東京有樂街で絶對の人氣要京有樂街で絶對の人氣要

「名滿洲初の訪れ

「病寧四日發國通」賓陽突 一時後敵主力の背後に行動し 一時の敗敵を捕捉、これに残 一時の敗敵を捕捉、これに残 一時の敗敵を捕捉、これに残 一時である。 一句である。 一句でも。 一句でも。 一句でも。 一句でも。 一句でも。 一句でも。 臨河を占領

大地區に潰走するのを發見 局方面に行動中の山縣、納 見、坂田、中島、中村の諸 部版と協力して同夜包閣陣 を完成し四日早朝一齊に殲 を完成し四日早朝一齊に殲

西北進攻戰果 0 B

では では では では では では の如し では の如し では の如し つたといふ非人法

意識を脱し得ぬのか 高越緩道について文句が 文字通りに、観賞さらなの支那は限覺めつゝあり、 枕木一本に苦力一人を失

張盗はつかまらなかつ 非常時の春

機を撃墜

の座-ンバ●スーダンラ● 揮指博藤後 者人-

電業

炭節に非常措置

意を表することになつた 関萬壽節につき体業して祝

節」で開幕、滿系初等學校 學校兒童に依る「奉祀萬壽 學校兒童に依る「奉祀萬壽

ん、金啓増さん、日系室して『おめでたう萬壽節』して『おめでたう萬壽節』

滿鐵支礼休業

を電波に乗せて家庭へ送る を電波に乗せて家庭へ送る ではこの日のブログラムを ではこの日のブログラムを ではこの日のブログラムを であるとして苦心編成、特 に第二國民の心からなる喜

では最初の同校ラッパ鼓除が「協和行進曲」「日の丸行進曲」を吹奏して伸びゆく日満支を吹奏して伸びゆく日満支を吹奏して伸びゆく日満支を変えて、一二六百年」おはなし等を送る

社主催二千六百年奉護國都 十分より十日開催される本 十分より十日開催される本

びを支那日本へ傳へ民學校見童が満洲國の民學校見童が満洲國の

口

の電壓引下

東光小學校の

首警威信の

强盗事件人

き在住五族の民々が信仰す」き厳かな宗教的大盛儀繪卷の慶祝行事がひらかれると まさに建國最初とも言ふべの慶祝行事がひらかれると まさに建國最初とも言ふべた所任代前、一徳一心 教、道教の差別なく宗教各大郎日本の意義深き紀元二 る佛教と言はず回教、基督友邦日本の意義深き紀元二 る佛教と言はず回教、基督

一齊慶祝禮拜

新京特別市日本學校組合長

小學校に入學せしむ

き見

要とは需



熱に努力の

操無大會代表結團式。紀元二千六百年。
「関式を擧行した

首都警察廳では「一日も早 に血みどろの捜査陣を布く に血みどろの捜査陣を布く

總監の固い決意に激勵され 和をとり戻せ」との田村副 の田村副

電業。八

※部所屬を會社直屬機關と して文書科長を部長として、 今日に及んだものです 十日の合同演奏會にタクト を振るのは科松福五郎氏で

遷を語る 樂長村松氏三つの變 樂長村松氏

同樂團の歴史を語った

昭和八年電業の前身であついます に甘五名のメムバーで編成 に甘五名のメムバーで編成 に甘五名のメムバーで編成 にオムバーで編成 にメムバーで編成 にメムバーサ五名を以て編 にメムバーサ五名を以て編 にメムバーサ五名を以て編 にメムバーサ五名を以て編 にメムバーサ五名を以て編 にメムバーサ五名を以て編

の二曲を演奏するが二曲ともこの樂劇の得意とするもので、特に和曲『老松』のので、特に和曲『老松』のので、特別な曾全アログラムを通じて異色あるものとし、

夫を引致

別女年齢を間はず通動住込自由 男女年齢を間はず通動住込自由 新京音野町二丁甘

《店

電給(3)

1

吳服外交販賣人募集

新聞配達夫の捜査を續けでの一味か否か謎の客馬事夫思勘捜査の一方、ギャング

の樂長である、當日は『愛キスパートであり電業至實

は『愛のバラ花』に盛る/ な、暫くすると樂長は練習 た、暫くすると樂長は練習

ボンドでありますが、針 すっ除暇を利用してきっ が、ハルピン支店にもよ が、ハルピン支店にもよ で居る様な譯で現在は大 であります、ます件

一立春の暖か 日は南風に

時停電を實施

窓口事務午後三時まで日 発替貯金其他現金日 全体

學行、新京特別市日本學校。 り同校講堂に於で開校式を 學校では五日午前十時半よ 者多數列席輝かしい第一歩組合長關屋悌藏氏始め關係 日であた市内東光路東光小かれて竣工をみ授業を開始 開校式



国立町ギャング搜査本部では兇行直後犯人の近郊部落週入行直後犯人の近郊部落週入しめた追込み検索四ヶ班がしめた追込み検索四ヶ班が出たる環状警戒線を突破したた影響なく未だ市内に潜伏して追及の手を避け警戒線を突破したが勝なく未だ市内に潜伏を強い高飛びせんとの間隙を窺び高飛びせんとなります。 ので捜査網を縮小し全捜査 力を寛城子署管内軍用路、 三不管その他個所に巣喰ふ 浮浪者、荷容馬車夫らの検 素に注ぐことゝなり

制限しない、本部より引揚即ち「この檢索には時間を 年前九時待機してゐた搜查費を員を一堂に集めて島貫を開発。 一長は前記側所の徹底檢索 を指令した

一ヶ班四名の二十ヶ班八十 名は同十一時卅分犯行現場 より鍵北へと急行、飲食店 客棧、民家、苦力小屋等を で本部へ引致取調べを行つ で本部へ引致取調べを行つ で本部へ引致取調べを行っ

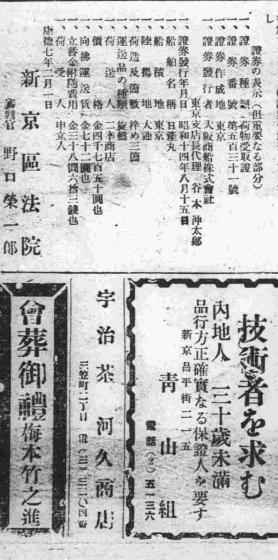
日後に控へて極度に恐怖心を抱き、今後の犯罪の防止を抱き、今後の犯罪の防止には是非とも一昨年七月管轄區域の變更、人員の關係から閉鎖された東七條通派がら閉鎖された東七條通派と要望の壁が漸大見の関係が漸大見の関係が漸大見りつい。 八九丁目居住者は春節を三帶富士、日乃出、三笠七、

高局としても長通路、寛本日本の東京線でも をより一方からる事件競生 を大きに容易に東安屯 に注目できる事件競生 を対しても長通路。 が出来を完全に が出来を完全に が出来を完全に が出来を完全に

正く本廳に東七條通派出所 近く本廳に東七條通派出所 ▲七・三〇(東京) 商年」▲七・四〇(東京) 百年」▲七・四〇(東京) 本ドラマ大村益次郎、演出 金子洋文▲ハ・四五(大連) 軽音樂と歌謡曲「上海セレ サード」由 利あけみ 他▲ り(二五)「奈良縣電祭」 大和懐古

900字晚6放送





観象臺

御天氣は……を中央

中央郵政局 舊年末始の一

節萬六 並壽日

强盜

非常

ル防組犯合べ

早急實現

の提案

徹宵の捜査に寧日

は鐵地 搜查陣 全力を集中 潜

兩派出所

一、履歷書。小型等一有希望者は自筆履歷書。小型等一有希望者は自筆履歷書。小型等一个地在住の方は其の代理人來談顯度し、別來們一丁目。 電話 第 三二八八六 電話 第 三二八八六 電話 第 三二八八六

たまに依り日本内地人從事員を募集す 一、少年、小女從事員 三十名 一、保安 保 員 五 名 軍隊団身の心身共に強健なる方 軍隊団身の心身共に強健なる方

祭の看板】

帶富士、日乃出、三笠七、 町ギヤング事件に同附近一 町ギヤング事件に同附近一 再開要望さる 任挨拶に來社 株式會社興德銀行事務収締 人金井貞隆の兩氏は五日就 人金井貞隆の兩氏は五日就 大金井貞隆の兩氏は五日就

日鮮人

あ す(六日)

▲ 萬壽節祝宴 於日滿軍人 會館午後十二時中 場滿鐵クラブ 午後 二時 場下後十二時中 場下後十二時中 場下後十二時中 場下後十二時中 歴史 ▲天草の亂起る (寛永十四年) ▲正金退 行設立(明治十三年) ▲ 正金退 (東本十四年) ▲

蝶屋洗布所本店

芝に御來館を乞ふ 芝に御來館を乞ふ

女事務員(肩收碎團羅度)一名

證券の種類 第三回有獎滿洲儲著債券甲組三 一八五番、乙組自三三、○○一 一八五番、乙組自三三、○○一 一八五番、乙組自三三、○○一 至三三、一○○番。

新京特別市大同大街二〇二 相利を届出て證券を提出すべく著し右期日迄に届出 権利を届出て證券を提出すべく著し右期日迄に届出 を爲さざるときは證券の無效の宣告をすることある で見ってるときは證券の無效の宣告をすることある 一、證券の種類

公示

学原書で付期間 自昭和八年四月二日至同九年四月一日の間に 学原書で付期間 自昭和十五年二月十日至同月三十四日(自午学原書で付期間 自昭和十五年二月十日至同月三十四日(自午中期) (2)戸籍院本(名)大學原書(各受付箇所に備付あり) 六五五五) 十種田期間內に戸籍院本入手内難なる場合は見室の生年月日を證する場合は見室の生年月日を證する場合は見事を以て一時之に代ふることを得但し戸籍謄本到着したるときは直に提出のこと

備考 1

を繰り展げて來た、とくに 施感激的な幾多の美談住話 関軍の募兵は過般來より智 敷島區募兵狀況 検査も態よけふ五日を以て れの入営者を決定する最終れ、國都に於ける募兵の晴 れの入営者を決定する最終 間る幹部を養成せん

ト國防會館に於て盛大に零 萬壽節觀質式は首都協和會

民合同國防會館に擧行

盛

な訳

賀式

三百の清眞寺

新京驛總動員行

から 協會總 會王殿 忠少將 がら 協會總 會王殿 忠少將 千の信徒が集合、午後三時國都では長通路清眞寺に約

大大いで第二大検査に八十五名合格 大いで第二大検査合格ニ 大名と言ふ厳選ぶりであ 内敷島風に於ける寡兵状



鮮かな式次を展開、

電和十五年四月本組合立各 昭和十五年四月本組合立各

小學校新入學兒童募集

出付集

大園幼児の身體檢查の日時及場所は顕書受理後追って通知するをきは直に提出のことしたるときは直に提出のことしたるときは直に提出のことしたるときは直に提出のこととなるときは直に提出のこととを得世し戸籍謄本入手困難なる場合は兒童の生年月日を設するときは直に提出のことを得世し戸籍謄本(2)戸籍謄本(2)戸籍謄本(2)で通知書(各受付箇所に備付あり)出 新京特別市日本學校組合長 新京幼稚園及本組合事務所(電二、六五五五)

昭和十五年四月本組合立幼稚園に入園せ 幼稚園 園兒募集 しむべき国兄

大、奈良真変、坪内美子、槻美佐子等から大、奈良真変、坪内美子、槻美佐子寺からない、村を變らぬより駆研吉か監督に當つた、人生の真のよう駆研吉か監督に當つた、人生の真のような大い。



実しい女性にそつくりなの 実しい女性を操してゐたとこ 音の女性を操してゐたとこ などうも當時の ない女性を操してゐたとこ ないとうも當時の ない女性を操してゐたとこ



版大二●興新●活日 心苦闘の中に生き る街の若者と强き 香尾團香遠根田 リヨ目六 意氣の女純情可憐 錢十六 加つて描 ★・山上伊 1 き出すの 曲浪大 が決と感激 畵映 中 ジ起場長耶澤口 別 盤 し門の村美 次で表対大夫



六日より 映 2 日まで 限 女

化

本藤海北川 江見浪 井田 良 讓禮太 演共アタス大五都京

野 城上 河 双 一五 正三 一哲郎郎夫鈴



~ | 純 細坪木高 ス情 大船五犬スタア共演 のと 寺 近口













まつた。

1111 111 1181111

説明界

判事かをひそかに談 作頭は、勇の顔を見

を引き連れて、近藤 を引き連れて、近藤

との愚痴も、自然と除士との関に騒かれる。 ところへ、二條の城からの招きなのだつた。 勇は、久しぶりに、明るい顔をしてゐた。 「行かれるもいゝが』 と、歳三は、勇を見て、 である。まぶしいくらゐの朝の日なのだ。 と、歳三は、勇を見て、 と、歳三は、勇を見て、

『戻るとも』

先に部屋を出て、 ・ に額を出した。 に副を出した。 に副を出した。

殿士部屋の 答へた。

力、供頭に低長島一條城へ参られる

曹々とした日が緩いたので この代見に來て、奉行所

になっ

るやう此頃貴

000仙

各地株式市况 インゴール二の経営比二分一 インゴール二の経営比二分一

東京株

ちつかずの返

(3)

心を、歳三に、永井玄蕃頭

71. D 原は、ちよつと首背いた 原さう云ふが――すべては にさう云ふが――すべては を預かつて行つた方が愉 を預かつて行つた方が愉 を繋がつて行った方が愉 すからなりない。

七六万州三月月月月月 申不来出

海外經濟電報

商况

剪五 傷日

12 00 3 34 7,28 8,17 12,20 3,54 股旅の明 1,10 4,40 10, 30 三日より五日迄 料金50セン

歌

2,

マ

ンゲキ浪花風流

× 11,00 1,40 4,30 7,20 エフケン頑張戦術 11、20 2、00 4、50 7、40 エンタツアチヤコの 12、30 3、20 6、10 9、00 お 化 屋 敷 12、30 3、20 6、10 10、05 化 屋 敷 五日より八日まで

骸な敷測も頭脳にく

寄るから――』

夜

『氣を

- 戻るには戻るが』

4

新土滿開盤滿新大五

57

楽劇

③京

六大

六和

四通

雜誌富士二ヶ年連載

殿門

時計修理部大擴張

曾

時計

東 一條通 角 当野町一丁貝

日歳三

ニュー 文化 ・映 賣娘 1,50 4,47 7,44 9,50 5,51 8,51 八大傳 12,00 2,59 5,51 8,51 三日上り七日迄 料金80セン 里見八大傳 12,00 次週八日より 泉詩朗大衆藝術陣 岩に咲く花 隠密姫

1,22 4,05 7, 12 1,32 4,21 7,28 3,00 5,49 9,16 名君初上り 幸福の窓 12,00 3,20 6,09 9,16 10,14 五日六日二日間

新京学会 料金80セン 大地に咲バ 1,13 4,13 7,13 1,35 4,35 7,35 11,40 2,40 5,40 8,40 10,10 超李 1日より6日迄日曜祭日十時十分より料金一圓 島津安二郎の光の影

1,26 4,7 7,48 1,44 4,55 8,06 文 化 映 畵 獎 菊 物 語 11,03 2,11 5,22 8,33 一日より五日まで 料金六十銭均一

又・又お笑ひ競映

週

創業二十年信用を賣る店 山口の自轉車代理店 日本橋通南 電話③三一五七



姬

着き未亡人の卷

書 帅

岩

大友柳太郎主演

逢初夢子 河津清三郎· 新興京都特作颯爽篇 宇佐美淳 主 演

より 4日間

に扮しましてアノテコ ノテゆかしくも涙でま しきエノケンの珍演ーー

ーキス上水東關●夫信川中部

弱き者汝の名は

しがないサラリーマン

サラリーマン也!!

齋藤演次郎 花嫁花婿二人を廻つて

*"器三川 K

5日 豐

壽

佳

節

畫

四寸

山井

一四

い智悪と態度とを飲いでゐ たのによるのも多いが、こ の種のらんばうな、すさん だ生活がもとで、身心をい だ生活がもとで、身心をい ためたものもすくなくない やうだ▼いくら手當をもら つてぬても、あるいふむち やなことをしては、月給も やなことをしては、月給も でなったがまちくびもまはら

満軍人會館に

T

奉祝宴

豊帝陛下哲算御三十五歳 の萬壽の住節を迎へた國 の萬壽の住節を迎へた國 の萬壽の住節を迎へた國 職強。伊太利、臨時、維新 職強。伊太利、臨時、維新 電配の各公使及び國務總 中、近以下各部大臣、長 官、簡任以上の女官、少將 官、簡任以上の女官、少将 官、前十時から動民樓で観見

時から四時まで一般萬任 官勳二位以下の臣僚に同 じく親見あり、一方市民 協和會首都本部共同主催 、人會館において萬壽節率 人會館において萬壽節率 、人會館において萬壽節率 、人會館において萬壽節率 、人會館において萬壽節率

新京特別市長、開屋副市長、開屋副市長、一日郡・田村副總官 その他官民多数参集、先 その他官民多数参集、先 で一同起立して日滿南國 歌を齊唱、于新京市特別 市長、陽屋副市長から率 説の挨拶を述べ祝宴に入 の張政務總理の發路で皇

新たところのこと、現地場における苦勢を察し、むりのれたことがある▼まだ大同めたことばであつた▼そののれたことがある▼まだ大同めたことばであつた▼そのに年間の、治安もわるく、交ころのことを思へばこのごに、一番によって、一番であった。一次ではないきのあらさまだひどいところもらんとれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれた奥地に、ごく少数の日あるにはあるが、治安といれたり、地方のらきた者に對し、そこでけんだらのマンはするともに、一面、現地場における苦勢を察し、むり、地方からきた者に對し、そこでけんだらなり、地方のはするともに、一面、現地と見られなくなり、地方のからきた者に對し、そこでけんだけ、そのからきた者に對し、そこでけんだけ、地方のではならのかった感をあらるの現地場を振んでは、そのからもであるかったがでは、そのからでは、またともに、一面、現地と見られなくなり、地方の

能地づとめの日系官吏たちの気徳や意気込みといふもの気徳や意気込みといふものが、何だか弱くなつたののが、何だか弱くなつたののにぎはつてるるごと、カフェーなどの教皇はれるマそで軍人や會社員などもまじいといふするにださながら、中途ではなくの青年が、あたら有為のといふようのおかにされば官吏が主ではなくの青年が、あたら有為といふようのとはいへないマももろったが、とにかないできなどもずるとはいへないるといふようの大陸日本が、あたら有為のといふようのよかのみつてたふれたりはしようのは、もちろってながら、中途で肺した。

達をなさしむるの件。

ふ案らまもち

でなことをしては、月給もでなった。まないふむちまちくびもまちくびもまはらひ、たちまちくびもまはらひ、たちまちくびもまはらひ、たちまちくびもまはらい。連中の身の上を心配して、連中の身の上を心配して、とうもうまくでもなった。とうもうまくゆいといふ▼あるで、どうもうまくゆいといふ▼ありではなっと借金はの方はかりではなったといるで、どうもうまくゆいかしといふ♥もまれではない。

市陸下萬巌を三

(日 曜 火)

安定に留意

意の答解原

を防

此

藤原商相 生産力機充については貫行に當つて調整 りである、國民生活の安 りである、國民生活の安 りである、國民生活の安 りである、國民生活の安 りである、國民生活の安

いては適正價格を速かに 監する ことなく實行に際する ことなく實 とに 壁する ことなく實 とに 壁する ことなく實 とに 壁する ことなく實

で大豆を押账又は破碎し或 適周種類が黄大豆と大豆舎 適用種類が黄大豆と大豆舎

方に於ては檢査制度の問 が現合して專管法の適用 が記されて自由搬出を行ひる

査を申込み故意に改良大豆 として検

物專管法改正

正、十日より實施し統制の 強化を圖る事となつた、此 場化を圖る事となつた、此 をの並に適用外のものとし て檢查期間の證明ある特殊 大豆のみが自由に搬出し得 る事となつた尚大豆粕につ 合格普通圓粕を造り事管法 適用外の大豆粕の製造が盛 んとなり自由に搬出するも

製務院會議で左の人事 が決定した が決定した

不合格品として搬出する等」管法施行規則を左の如く改査を申込み故意に改良大豆」に至つたので今回政府は事を申込み故意に改良大豆として検り制度の運用に齟齬を来すいまして元来混保黄大豆な一般法的行為が頻發するに至

程を變更して同日午前の後を簡単に答へ次いで議事日である、御諒承を乞ふであるとのでは、一次ので、一次ので、一次のでは、一次ので、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、

經濟公式

論

に對し小山

等總會で可決せる昭和十四 等應議 入蔵 出總 豫算 追加 等度議 入蔵 出總 豫算 追加 特通り可決、次いで朳野戏 相より過般大阪近郊のガッ リンカー 頼獲事件を詳細報 古、終つて國務大臣の施政 方針演説に對する質問演説

衆議院本會議

方針を

「東京國通」五

興亞議會 に氣負ふ緊張 子川 n E D 3 fř 粉瓶行

朝 【頁二十刊夕朝紙本】

門里 定本 金齿 氨糖 人人人 斯斯京日日新京日日新京日日新京日日新京日日新京日日新京日日新瀬 湖 河 西 內破學之新聞之 二一十一 河川 五五五 十十 鎮铁鎮門



相と、要れはと貨債るが に簡単な容濤あり、大いで相、櫻内厳相よりそれぞれ と要望しこれに對し藤原商

價昻騰抑制に對する政府

理法によつてその生産をならびに恒久的措置の確ならびに恒久的措置の確認家管

の絶滅を期したい、石炭その免許制實施によつてその免許制實施によつて優滑にし中小商業者にはしては組合や資材配給を

寧夏省境に迫る

寧夏方面の

敵に大動搖

日英交涉公文

愈よけふ午後發表

【五原五日發國通】五原一

然に躍起の色を見せてゐる 臨河方面 殘敵を追撃 0

臨河を占領、破竹の急進撃 戦に移つた

耀西進臨河方面の發敵掃藻 番乗りの○○部隊は一 B

に決定し 往來 京

と答へ午後六時廿三分數會ある いて同時に公表されること時頃東京及びロンドンにお し引獲し要求を行ふ方針でに関し引續き英國政府に對 筈であつたが、英國政府の方の公文を五日午後公表の 法理的見解を明かにせる双なつた、また日英雨國の各

全幹事 (は五日午後二時より中央本 は五日午後二時より中央本 は五日午後二時より中央本 は五日午後二時より中央本 は五日午後二時より中央本 を發揮する 名出席のもとに名出席のもとに 國民生活問 政策 協和會側から石橋 性するが、 既に時局物價政策

惟するが、更に右大綱に基 門別に分科會を設置し具體 門別に分科會を設置し具體 してその要領は次の如くで

一、動を対して、 ・物質政策に使いでは、 ・物質政策に使いで、 ・物質政策に使いる。 ・物質政策に使いる。 ・のを対して、 ・のを対して、 ・のを対して、 ・のを対し、 ・ので、 、ので、 ・ので、 、ので、 、ので、 、ので、 ・ので、 ・ので、 、ので、

題檢討

家雞國大文品 工民

1 常大弘協國吏建世滿滿東數算作國經法

進撃に極度の動搖を示し防 | 職において右交渉經過なら | に引渡し洩れとなるべきこ | 撃夏方面の敵は我打續く猛 | ので、六日の貴衆兩院本會 | 渉を打切るものではなく更き附近の残敵掃蕩中にして | が一應解決を見るに至つた | してはこれをもつて日英交 | 快速部縁は臨河入城に引續 | 間丸事件に闘する日英交渉 | 明を行ふと共に帝國政府と | 快速部縁は臨河入城に引續 | 間丸事件に闘する日英交渉 | 明を行ふと共に帝國政府と



用 語の 音學 ひ 女 法話話法方 月,四紀本 月,四紀本 月,四紀本 大 版高級祭豐總官 荻山貞一 文 新於日本 大 版 高級祭豐總官 荻山貞一 文 新於日本 大 版 高級 大 版 高級祭豐總官 荻山貞一 文 新於日本 大 版 高級祭豐總官 荻山貞一 大 版 高級 東 一 大 版 高級祭豐總官 荻山貞一 大 版 高級祭豐總官 荻山貞一 大 版 高級祭豐。 大 版 高級 大 版 一 大 の 一 大 版



間 譯之本國 之 風 用 會 **清**須俗地数 **會** 習 法知慣誌育文法本話話法法

音學ケーケー 習



陸^{報和民} 宣 皆道國 文傳會兵 文(論文) 大大 語意意 誠化論論論論理理史史 文 () 中國





瀟洲最初の

通信教授

太阳新游 田知知

満映入りの豫定である 満映入りの豫定である

研鑽修養に努めよ

榮厚

= # 英掃海艇 十四隻撃

により或は旅客の携帯品と して特出すことが許されて したよめ最近安東、 圖們、 は海陽等関境方面に積極的

他来の一連から六十瓩と極 度に縮減し、瞬内主要民食 を下書なる流出を防遏する ことゝなり来る十日よりこ

會社債中に日本設送電債三 製作所二千百萬圓等がある、 製作所二千百萬圓等がある、 種別内譯左の如し(單位千 個本印滅)

銀行 通 在 消滅 增加(新立)

天野ョサエ

入院往診隨意

(年初来の異動)

性科内

河野医院

品目枚 五、三二、八十級 **手形交換高**(#日)

從來の一略から六十瓩と極糧穀輸出の自由輸出範圍を

「東京國通」大蔵省發表 = 一月末現在に於ける銀行数 並に年初來銀行異動狀況を 示せば左の如し

銀行異動狀況

河野省二

総新舫新栗東 セニューを記る セニューを記る

開之助

海軍大擴張の意圖

が、ソン前海軍長官

| 四機並に艦載航空機 | 10機並に艦載航空機 | 10機並に艦載航空機 | 10機並に艦載航空機 | 10機並に艦載航空機

現在の一萬噸を超えて一萬年十一时と云ふところに落着十一时と云ふところに落着

十一吋と云ふところ

人米

コム製造

きな理由となつてゐる。民 區域の擴大といふことが大

奪還を夢み顚落

長れ傅作義の末路

(ワシントン四日發國通) 百十七年の石井ランシング 協定に関する外交陽係文書 をこゝ一、二週間中に公表 することゝなり、日米外交 殊に支那問題に關するこれ まで知られなかつた折衝の まで知られなかつた折衝の まで知られなかつた折衝の まで知られなかつた折衝の まであらうといはれて ある、なほ右文書の發表は 日米陽係だけでなく歐洲大 するところが多いとみられ

小口輸

出禁止

範圍も縮減

も無制限輸出の如き現

「東京國通」日銀調査=一 「東京國通」「日銀調査=一 「日本の一 「日本の一

合株會銀地國 社行方 計式債債債債

要糧穀の

月中排

業部大臣の認可を受くるこ 本高獎、包米、粟を輸出す を場合、同統制法第三條に 主要糧穀統制法に於ては從

で今回部令改正を行ひ主要を呈し統制の完選上幣害が

| 依然抗日を続けつつある

支那

一業の

作 教が三ヶ年をつ で 職部隊は自書 な 職部隊は自書 な 職 のて 進撃

らをこめて聖譯の萬

空軍の爆撃に充分對抗し得 を立めので現在の最大爆撃を 他金 屬部の接合には、十 二分に電氣路接法が利用さ であることであらう、 動艦と何等差異なきものと なつた、これは何時の 対防力を若干繁性にし、稍 機艦と何等差異なきものと なった、これは何時の なった、これは何時の なった、これは何時の なった、これは何時の なった、これは何時の は、十 なった、これは何時の なった、これは何時の なった、これは何時の なった、このことは勿論主

度の良好、 融壊力の大並に であるが、これが為には砲 の口徑を増加することも必 要であるとともに砲身の延 伸、砲及び砲塔の機構施設 の改善、備砲搭載数の増加 の改善、備砲搭載数の増加

政撃力は、軍艦そのものの 関値を決定するもので、軍 艦の生命である、而して砲 をの良好、破壊力の大並に である、而して砲 である、而して砲 である、而して砲

ことは勿論であり其の要目し得られぬが、長年月に亘し得られぬが、長年月に亘る建艦休日中と雖も、各國を確立に不斷の研究と練鑑の建造に不断の研究と練店とは、主力整理造の歴史とたけは断言出來であることだけは断言出來であることだけは断言出來を、但し現在までの情報を

一、 航線距離の擴大 なほ巨大主力艦建造の機勢 なは巨大主力艦建造の機勢 なは巨大主力艦建造の機勢

主力器 航空母艦 巡洋

| Wind | Wind

にエユーヨーク四日 愛属 リーニューヨーク四日 愛属 ボイツの一有力商社から合 がイツの一有力商社から合 がイツの一有力商社から合 で製造するわけではないが を製造するものとみられてる で、油して現在のところ合 る、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合 で、油して現在のところ合

は各國により各々意思ら に指揮装置の革動をも必 とするのである、複で生 出づる新ま岩艦の性格は 出づる新ま岩艦の性格は

對優側、

カ 三十簡前後 現有主力艦に比し

註二 パナマス 原價になって2

出を可決してゐる と共にこれが改鑿を計畫 と共にこれが改鑿を計畫 と共にこれが改鑿を計畫

佳作 賞念性 様

年代金竹二公送

聯裝

主砲十八时九五萬順前後

算總會に集中

質問の

に朗色漂ひ復興への開発を

米海軍當局談

羅貿易の

抑壓

熨

日本は今年紀元二千六百 年を迎へ暴國的な盛典を行 年を迎へ暴國的な盛典を行 年を迎へ暴國的な盛典を行 年を迎へ暴國的な。

而して貴族院としては現 一般の質問をとつてみるのでをはじめ財政、經濟問題をとつてみるので各派とも明年度豫算案の審議に際しては、等方は、とも明年度豫算案の審議に際しては、等方は、となし質問も歌等との他の委員會に進み極めで権重に審決性、政府の施策遂行に協力する。 一般の質問もこれに集中せたはじめ財政、經濟問題がとつてみるのでを派とも明年度豫算案が、経済審議と相俟つて議會に鑑み極めで権重に審大性、大豫算審議と相俟つて議會に強み極めで権重に審決しては後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論は後半期に至り貴族院の論

大一豆熟田協定價

五年 静寂そのものだが、豚や羊 ては 雑等の威勢のよい際が此處 間 彼處に聴え、立派な道路に 地方れた橋もベンキ途りで なかなかの美観を呈して居 なかなかの美観を呈して居 なかなかの美観を呈して居 なかなかの美観を呈して居

ラが御目見得するからする一ない。 をからの成立も間近ないまスターやビンを発展したでは、 をからの成立も間近ないまスターやビンを発展した。 をからの成立も間近ないまスターやビンを発展したがありました。 をからの成立も間近ないまる。 をからの成立も間近ないまる。 をからの成立も間近ないまる。 をからの成立も間近ないまる。 をからの成立も間近ないまる。 をからが多いまる。 をからが多いまる。 をからの成立も間近ないまる。 をからする。 をからが多いまる。 をからが多いまる。 をからが多いまる。 をからが多いまる。 をからずして表たが、 とからずして表たが、 とからずしてあたが、 とからずして表たが、 とがらずして表たが、 とがらない。 とがらずして表たが、 とがらずして表たが、 とがらずして表たが、 とがらない。 とが

【上海五日發國通】去る廿 支米大使の乗艦ルソン號附 近に敵弾が落下した事件に 近に敵弾が落下した事件に

九隻を撃沈したほか武装油わが機三機未だ基地に躊還

タス通信報す

上作を暴露して左のにバルカン協商會議 はバルカンに伸びる がラードに開かるの成行を

(東京國通) 日銀調査=年 一億三千百萬國に達し前月比 一一月の計畫資本總額は七 一三億九千九百萬國に達し前月比 一三億九千九百萬國に達し前月比 一百萬國の大口物を包含す るためで全般的には生産擴 るためで全般的には生産擴 るためで全般的には生産擴 るためで全般的には生産擴

和蘭商船爆沈

ルテ (100 年 100 日本 100

く米國務省

が公表

ての護衛を受けてゐるは三日北海で英國軍艦

隻、哨海艇四隻及び油槽武裝商船を攻撃、掃海艇

文書

商优级 各地株式市 沈場日

債券利廻 **全型类圆相** かかかか 分質素

増殖す

年

同

株式利処微落
「東京関連」 勘線調査=一月中における主要株式利卿に比し三毛方を機落、前年に比し十厘方の低落と 計行書

症治、主 Щ 紅前

銀貯

貨預鑄紙 出金貨幣 ウルロ、地震が を見り、大九八 三門、六九八 一門、六九八

中銀帳尻二日中銀 前日對比

質開す機に高か次京

特產新市

に場を

1

用體 特日南北南日 (日本)000 (日本) 全株 二〇000 - 〇章 三〇音 五〇音

是事**河上该田夫**今先姓劍製

神教会 教育(2) 文章(2)

日心(日本のなど)

力を根本から を根本から を根本から

は部門

め

畫資本著增

様 長 壽の基 長 壽の基

1 0 m



體原鳥臉圖完成

本が的活動に入つた満州空 一大本が的活動に入った満州空 を本年は見室に重點を置き を本年は見室に重點を置き が、差雷り全減小學児童か ら「小學生の童識」を左の 要領により募集することに なつた、なほ同時に一般か らは「國民防空の歌」の募 のは「國民防空の歌」の募

明子、中等學校卒業及び之 明史、滿洲地理、作文、常 識で年齢滿二十六歳以下の 選で年齢滿二十六歳以下の と、本 一時學校卒業及び之

の現地調査に乗出し、目下拓植を協力して入植候補地



朝鮮から満 地決定す

北支行

原 四〇、、、

「中では、

「中では、
「中では、

「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では、
「中では

感よける吉林北山で

の利 (上諏訪園通) 第十回明治 (上諏訪園通) 第十回明治 (上諏訪園通) 第十回明治 (東京) 子 (東京)

菓養榮

全満の 全務協會の新計畫 小學生よ します 新京劇宗鴻理人の一部有志師聯合組合 委任官採

人後接會員たる事を條件と「庖丁報國」をモット1と「庖丁報國」をモット1と「右だけに組合員は必ず軍」が、12 日本各地で施行 追試驗 財朗な協調が闘られてゐる など両者の など両者の

を同等以上の學力あるもの 実日迄、中込場所並に問合 業日迄、中込場所並に問合 等京國務院總務應委任文 第京國務院總務應委任文

△準決勝

山本 (撫堤) 江島(泰電)3-0

8る 一科と改編する

整備活気づく 實業科

外徽章

的二番地

專

製

ナダ

間財界 **心交團體を結成**

民間側からも 機關の結成を含めて、

一 國都の商人は商資氣がない。 と非難されてゐるが、事實 努京の商人は商人なのかお 客なのか判斷がつか以程不 名なのか判断がつか以程不

豫想されてゐる

自

閉

所か

所ケ拜巡

、奈良、高野山、檀田光、東京、明治神善光寺、新潟、鳴子桃山御陵、伏見稲荷

催主

門司上陸、下闢、宮島、京都、桃山 門司上陸、下闢、宮島、京都、桃山 原神宮、大阪、自由解散 新京市中央通り 新京市中央通り 新京市中央通り

込所

田蒙

組水地

になった

決定競表、六月中に夫々渡なほ試験合格者は五月下旬

各官應に配屬される 務せしめ委任官試補と を表言を表示月中に夫、

全滿女子卓球

工股と稱せられたもの)を 支編を行ふこととなつたが 遺編を行ふこととなつたが 遺編を行ふこととなつたが 遺編を行ふこととなつたが 遺に での内容も勤業股(従来商 でで、こととなったが でで、こととなったが でで、こととなったが でで、こととなったが でで、こととなったが でで、こととなったが

△入場式(午前十一時)競技開始(同州分)スキー技開始(同州分)スキー で市長盃) 爆生登峰競走 で市長盃) 爆生登峰競走 で一段三時川分) 解散 で一段三時川分) 解散

れる。 公會會長以下列席下報協會會議室で丁等

證の傳達式を學

有リマス何率老岩男女ヲ問ハス奮テ御参加ヲ願ニ鬼順責議賢ノ御後接ニ機ニル爲一段ド内部ソ等補皇軍武運長人新願ハ減ニ意議深ク繁崇敬會ハ神佛を記三千六百年大吉辰聖職第四年ヲ迎へ昭和十五との「人」といる。

運

四伊勢參拜團體募集 贈 贈 類 二十八日間 八月間 八月間 日

「マス 「佛学兵働、ヲ創立シテ以來二十年七十餘国ノ長期三段 「佛学兵働、ヲ創立シテ以來二十年七十餘国ノ長期三段 「上年初存伊勢大神社ヲ始メトシ神社佛閣三國成官場?

興亞の春!

婦人洋品:雜貨

午前九時半より 午後八時まで 營業時間



命 は

御用

廣告の

電話(3)三三〇〇番

(日曜、火)

煮立たせつどけることであるたせつとけること

全月十日 午後一時

グラム等は追つ 當日の演奏プロ

滿鐵新京支社 新京軍樂隊

新

京音樂院

滿洲電業

株式會社

演

關東軍々樂隊

新京混聲

一合唱團

新京中

來るを思ひます

岩秀峙する絶勝の地である。南海に突出した地で前面は大洋港として一點の目を遮るもの無く、奇岩秀峙する絶勝の地である。南海に突出した地

聖蹟巡

作者の作品でな

他の注意・

蓋と火の弱め方についてで

いのは、

て書かれたものかよい

くさけることが必要ですがあったり、印刷が不鮮明 さたったりするものがありますからこれも吟味し、ま

本原理と

は 具體的にはどう が選書の上の根

り、圖書館や木屋の

例へばじゃが裏を茹る場例へばじゃが裏を茹る場例へばじゃが裏をむない様にしされて、この弱め方の程度の中のものがにえている。 「はどうしたらよいでせらから、これも二升入のアルマイト鍋で實験してみたところが必要です、所が蓋をしなければが必要です、所が蓋をすればである。

考へておかねばいけません子供のための本を擇ぶの子供のための本を擇ぶの

感が深いことゝ思はれます

の母親には一入この

小學入學を控

本が文士の片手間に書か

今迄のコドモ

へなど)著名な兒童讀物の る書物(ふるさと、幼き者 など)(二)定評あ

を省くのに非常な效果があるのを御存知でせらか、つるのを御存知でせらか、つまり蓋をしたのとしないのとないないなことを考

のでなくてはいけません、のち主によつて書かれたもでも、それと「専門的知識

書の心得

二升入りのアルマイト網 で實験してみたところ、同 量の水を同一の火力でわか すのに、蓋をしなくては十 四分かゝるのに、蓋をすれ ばこの大凡そ半分の八分で はこの大凡を半分の八分で

に於ける各樂團の 義深き本年の紀元 教行する、我が講

を決行するこ を表すべくない。 を表すべくない。 を表すべくない。

拵へませ

さ、一個を四つに切り、玉木づ百州名の馬鈴薯は皮を剝

(材料五人前)

時々鍋を動かして

濫化

て弱火に わたる様

州気は薄く輪切りと

くまで煮ましたら水をたつけ、野菜がほんのりと色づ

のることは衆目の信頼

得るも

0)

るを

3

祝の誠をいってゐる。

たす

歡喜に溢る

量の水を同一の火力でわ

どの方面の讀物

たものはいけません、

五六頁は讀んだ上

い大人の生活や

なほ、物を煮み時の音

義務として目次と序文或は

火力とする事を守り

それまでの七分の一

作者の自己満足の本に打つ

書の心得――内容は文學的であると共に教育的考慮が構はれてゐなければいけません、その意味からいへば 製田正子さんの本も、或は 独田正子さんの本も、或は 内容の方から見た

の悩みであり

なものがいる 讀ものはどん

同じゃらな危險がありますなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせらなどに賴るのがよいでせられば童話 0 りで選擇してやります、そればいけません、漫畫はへればいけません、漫畫は不と別個に考 を使つたものがよろしいとさの出たもの、上品な言葉との出たもの、上品な言葉 思ひます

煮 節約 の効用

といふことが大きな原 多いといふことが大きな原 をいといふことが大きな原 といふことが大きな原

ル分は禁物です

いた隙間のないものでなく 蓋は、勿論鍋ヘビツタリつ てはなりません こんな重要な燃料消費を 煮物を蓋立てるにも鍋蓋

でも大抵の人はこの病氣をで外人にはごく稀れな病氣といってもいく位で外人にはごく稀れな病氣で外人にはごく稀れな病氣

人に比較して體格が劣つて

す、その點日本人は この病氣に罹り易いのでこまで氣づいてゐないやこまで氣づいてゐないやこまで氣づいてゐないやこまで氣づいてゐないやこまで氣づいてゐないや

氣溫の急激な變化

滋養豐富

な×××××

×

痔がきざす 過ぎるこ お電所で 熱の無駄を省

ひ事の ことについては色々異論が ない が、痔と榮養とは密接な關 が、痔と榮養とは密接な關 です、常識的に らこの病氣のためには二重 とは、便秘を譲防しますか のんだり、冷えたりまた長 時治癒したやうでもお酒を は根本的に治療しな に效果があります、

患者が續出ない。正月四

の暴致過

も經産婦

持つてゐるのです、

に再發します い道を歩いたりす から效果があ

を 弱させるので新しい方法と 弱させるので新しい方法と の他の と思ひます、多くの人は寿りますが、痔で死亡する人 も可成り多いので、殊に結 を可成り多いので、殊に結 を可成り多いので、殊に結 をで死亡する人 をでないや がしておかなければなりま せん、脂肪分、蛋白質の標 をしておかなければなりま

人きな原因は

お

務先が優房で比較的温いの 病気の直接の原因は、動 に、通動の途中は猛烈な寒 に、通動の途中は猛烈な寒 返し の論です、この種のつかない結果に至

て行く 方が 安全 だと 思ひこの方法で根本的に治療し 療法が發見されましたから がある。

から雇ふ側への註文で

骨盤の光血と冷

局

身を護る着膨

働く御婦人の

に結構 たり、書間などひよいと薄りない服装で通った形と愛りない服装で通った形を通った。 はとりわけ肝要であること。婦人の場合

顔や足などは習慣をつけさをお忘れにならないやり、 なので れば抵抗力の強い部分

を重ねたらよろしいのです 效果的であり、その上スァ 対果的であり、その上スァ また下

海外短信 一着の着方

るのを發見した巡査は娘が 動車を運轉して疾走して來 して来まして来 もなく頑强に抵抗するのをなく減弱に抵抗するのを 加州の交通規則によつて彼 八歳に滿たない

まで製測された世界におけ 重がでしまひ、毎日獲物漁 が一を石で塞いで行くと云ふ用 が一を石で塞いで行くと云ふ用 が一を石で塞いで行くと云ふ用 たなる一農村に住む評判の美 大震婦パヤン・ファトマは 大震婦パヤン・ファトマは 大震婦パヤン・ファトマは 匹の大熊のためアッと云ふ 間にその場に組敷かれてしまった、ところがこの能会 開に獲物を食ひ殺さらとも 別に獲物を食ひ殺さらとも

巡査と娘

態の 聞っ た女

また同

一八八五年一月十五日一月の平均氣温な水

絕讚



見童は 音樂を受 新京音樂院 如何 れる

一、音と色とに敏感となる時代……情緒時代又は想像時代(學齢前) 一、音樂を識別する時代: …小學校時代(學齢前) 指盤時代(まで お行初期時代より滿三歳 歩行初期時代より滿三歳 大ヶ月頃から聴覺神器も次 ・ 第に働き初め音を感するや ・ 大きな音がした場合にびつ 大きな音がした場合にびつ 大きな音がした場合にびつ 大きな音がした場合にびつ がることによつてすやすや と睡りに入ることによつて 小貫譽四郎

い問題で、

樂」といふことになるが

とは遊びの中に鳥の暗壁に れを訴へ或は傾聽する表情 を見せる、又は自動車の走 着するやちになり、この時 代にはラヂオやレコードの 大人から思はれる時もある が實際は聽きながら遊んで 大人から思はれる時もある

育につい文は私の研究した 時代」「小學校時代」に大 時代」「小學校時代」に大 別してあるが、見童音樂教 別してあるが、見童音樂教

を覺したりするが、生後五ずる物體の振動によつて目

職發達上の一つの のあるものである の表象を歐米では の表象を歐米では

てる

又は想

车心 接觸する大人達の

界において常に動いてゐる 音に留意する する、この時代は音樂であるいとはであないとはデオる、この時代は音樂であるいとはデオを神神に及ぼす影響につ さながら遊んでゐるの ないから何でも自分の 合はぬショックを受け 類時代で、 を受けると がつたり は音樂によ である。について より多大の關心を持ち始め その第一問題として興齢前 の子供に音樂教育の必要を 認めてゐる、歐米において 悪齢前の子供といふのは満 三歳から五歳の間を云ふの

な記憶力を持ち、就中音

食物、

着物、

0

番

組

新京放送局」

を遅れてある、これは家庭、
楽上の知識は歐米に比べる

に向つてよく進歩し家庭のので、彼等の性格は多方面 關係もあるが、兎に角このの事情又は音樂教育機關の の三年間の子供は丁 心理恩では情緒時代

色とに極感となるのである。 歌の節、童話、さては大人 の難しい言葉に至るまでも 心を合せて唄ひ、舞ぶのであるが、然しこれを見ると自分の を合せて唄ひ、舞ぶのであるが、然しこれを見ると自分の を合せて唄ひ、舞ぶのであるが、然しこれにと助子であるが、然しこれにといて経験 なれた状態であるが、ラヂオ

特代の千供は實に樂しい情 を汲みるやうに思はれる、 た別なことで、その善導の 如何によつては愚鄙に近づ くにつれて發達して來る所 調情緒時代の天才的記憶力 に大きな差を生ずることは最も たる、故に音に對する最も を表表。故に音に對する最も を表表。故に音に對する最も 来るのである(この項載く) 社會生活への用意かよく出 前に音樂的教育を施せば子 心智時代に入るので、その歳になれば對象的時代又は をける最大の肝要事

ユニスカキ 報、告知事項、

10

院長 田 院長

第2二六り七

入院室完備 田島醫 備 蓬



科をふりうごかして、バタ 別をふりうごかして、バタ 別をふりうごかして、バタ 別をふりうごかして、バタ 別をふりうごかして、バタ

は上とろとろと煮酸け最後に調味料を加へて味の仕上で出分ったならば弱火にして出分ったならば弱火にして出分でに弱います、これを蓋つきの大きな器か鍋に入れ、食卓に送り、各自の皿にスープをします。と、本さな器が鍋に入れ、食卓に送り、各自の皿にスープをします。







な

母はやつと言つた。 下津の方にずうと働いてま 大津の方にずうと働いてま

お照も、おイシも途端に を見詰め合つて呼吸を噛 が表した。この男とこれ以 上話をしてみたり、様子を いてみたりする必要が無 くなつて仕舞つた。お照の なみは遠くの方に消えかか

北支から戻つ

1111

ノま思き上つてゐ

きに対欠伸した。そして 直ぐ笑ひたくない笑ひをみ せた。

お用は呆然になってくるでは

は呆然としてゐる。

5

上足雪田 三中井ギャラリーで四日 まで開かれてゐた土星會洋 素がどう云 : 經歷の人達か が作品を通じて蹇へる。そ して各々の作家達か、各自 して各々の作家達か、各自 もあること かが作品を通じて蹇へる。そ この人の

おる一刻が出てゐて、構圖 とこの人の作品全體から受け して、又作畫上に於て、決 定的なものを持つて貰ひた、 たり色彩なりをある程度決 めてかゝつて、書面上でご かっつまり、描く前に構圖 かっかゝつて、書面上でご と云ふことである。 人の銀角的な感覚は一寸ユー と云ふことである。

はいい。 高見清一氏 この作者 かの意味に於て延ばした方がいく。だがそのロマンチシズムは、何等 かの意味に於て延ばした方がいく。だがそのロマンチシズムは、何等 シズムは現實に根を持つた は好きだけれども危なけが ある。この人の感覺が現實の中から夢を探し出して ある。

だがこんなに明るい旅の一 は勿體ないと思つたので額 は勿體ないと思つたので額 く凍つた腹野に眼をやつて 見た。驚いた事には最早雪

この鋭さをよく生かさ

被は公民を投けると貧し な所の建物に向つて躍動 する心の 動きに 胸を 退っ た。今日までの自己の内的 関争の尊載さと可憐さをし みじみ思ふのだつた。

と窓を見ると寒さの鷽に硝 ・ は全然世来ね。朝食を終つ にはかりの乗客は非常に騒 しくなつて来た。私は空 腹を急に感じ、思ひきつて 食堂車に行く事に定めたの であった。

米で、急に私の心はた い光が眼の中にさしこ である。

事實役所にも下宿生活にも少しの變化はないのだ 彼自身自分のそれを知つ

を立ち上つてみると、後から人、腹の空いた人々が語い、おとなしく自めかけて來た。

されてあった。然しそれら は時間と努力が解決した。 は時間と努力が解決した。 は時間と努力が解決した。 は時間と努力が解決した。 は時間と努力が解決した。 はでは、かつて下さいと記 で変撃に對しても社會に對

男である。お照はない。日 お照はうと(人と眠りか) お照はうとした時「今晩 は。今晩は」とつづけざは。今晩は」とつづけざまに戸を叩くのと一緒に太っまに戸を叩くのと一緒に太っまに戸を叩くのと一緒に太っまに戸を叩くのと一緒に太っまに どなた?どなたさまです

外の男の際は哀れつぼか 大 つた「北支だつて?」お照 の耳にはそれだけが强く響 で、て遺された。お照は急に た 記き上がる氣になつた。 「待ちなさいよ、直ぐ開け ますので」 「北支の方から戻つて來た者ですよ、道に迷つて仕舞 やつた。 「怖々の氣持で き出してから訊かずにあら を聞いたお照は、膝頭を突 を聞いたお照は、膝頭を突 男は寒くて言葉がでてこないといつた風であった。 ないといつた風であった。 で仕舞つたストーブに覇を くべてやつた。

は らに近寄った。 「お前さんよ、北ミ は が「男はストープに絡みつきさ」 は らに近寄った。 で仕舞つて瞬き一つとでは男の眼と口元に這つたのだつた。お照のいと口元に這

らへものとして終つてゐては困るのだ。 或るインチキな事業をやつてゐる漁色家の老人、 そこに雇はれてゐるインテリ女。老人、この女に對 してだけは至極丁寧である。女には戀人があり、氣 破続に行方をくらます。 この老人が割りに面白く描けてゐるのだが、かん この老人が割りに面白く描けてゐるのだが、かん じんの女の方がどうも薄手である。ちよつと柄にな い作風を狙つたといふ貌。 (御垣衛士) 虚構 手

な

し人の構虚でいらくのクに

後は自分で自分が分らなくなつた。自分は果して正くなつた。自分は果して正 を、然しその頃或る文學の た。然しその頃或る文學の

毎年だと思つた。 毎年だと思った。

一達者で働いてるでせらかにとがきつとあるよ。まだ。 「達者であるらちにはいい」 お照は語り合つた。二人は ちた。 (完)

深い溜息を吐

「夜分」とんだお邪魔にあ

母は返蘇しなかった。「心配しなくたつていいまわたしがゐる間は大丈夫 で考へてみた。 喜びに浸る事があつた。 が一杯であつた。

どつちに行ったつて駄目で

儂のこのざまを見たら大

男は大儀さらに溜息を吐



古本買入。

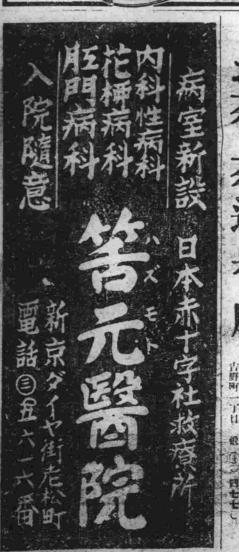
新智識をし

嚴松堂古典部

业一條通



牧特に配ってあるため、永ら 保存に配っため、永ら では、永ら では、永ら で割を占む











十八日 H

> 二十艘 至

> > 廣告の御用命は電話の川川00まで

分 Ð 分

薬店に

D14-2

無比の良樂にて

の良薬にて國民保健に常備すべ

せんそくの急性慢性によく効う、し瞬民保健上賞、讃を博して居りま

効果迅速で

服みよく、副作用は絶對にな

質 間 桑 登 書態容果効散角龍 血。肺流流頻。喘咳 一番のかれ又は咽喉の ななない せたんん せき Minimumin 🗨 Minimuminanianis

きょ 肺炎を防

1701

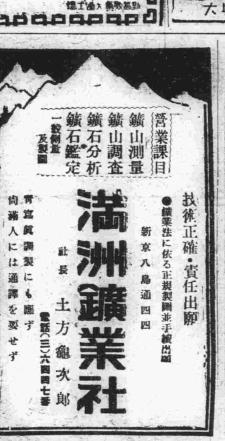












吉 和洋服は 野 メラ及公 NJ お電話 御相 特に勉強 談に随じます 次第 债儲蓄債券 4 店 木洋 二五一三③電る入路小度





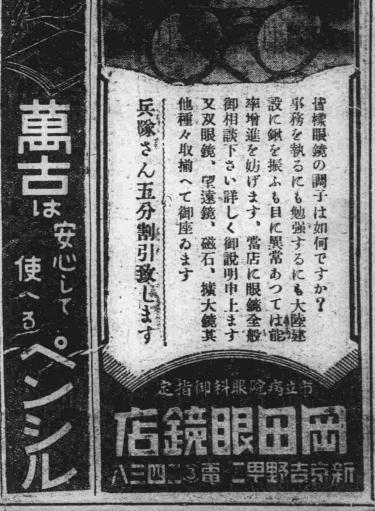




南語 3777番







I

院員は一日の慶 を代表して参列す 一酸離北頂に 昭和製網理事 時彦 滿都 博彦 滿都 張 煥 相 哈市白糸露人事務局長 単スリーチン

灰入手に懸命の努力 電力確保へ節電協力お願い 協和會中央本部 坪魯

要者及び一般市民の協力簡 電を要望するとともに夜間 能勢をとり五日刺から社員 態勢をとり五日刺から社員 態勢をとり五日刺から社員 を運びに勢力の不足を補つ てみるが、親日六日の萬壽 でよるが、親日六日の萬壽 であるが、親日六日の萬壽 であるが、親日六日の萬壽 であるが、親日六日の萬壽 であるが、親日六日の萬壽 第一回宣德達情分科委員會は五日午後二時より協和會は五日午後二時より協和會交響、同輔、協和會等の代表科十五名が參集重要物資表科十五名が參集重要物資。 初委員會

日六日續く

炭二千建の一部を融通しつ 在**装**電所に所有してゐる貯

萬圓寄贈

す銭物の検索陣も徒勞に終 カ同九時頃一同本部へ不審 者四名を同行して引揚けた 本部では期待をもつて實施 した鉄北の大検索が何等得 るところなく水泡に期した とは云へこの種重點検索は とればなりて他捜査と併行し でながとして他捜査と併行し

参考人は事件と無關係 もので、同人の供述は搜査 届け出た防犯協力者であから残盗犯人だと派出所 査る

大金私藏か 血腥い犯罪を誘發

一高工公會防犯協力に乗出 大底に叩き込んであるが、事 ず犯罪防止の上から云った。底に叩き込んであるが、事 ず犯罪防止の上から云った。 自満商に呼びかけて必要 大底に叩き込んであるが、事 ず犯罪防止の上から云った。

元日捜査本部に参考人とし で引致取調べた某新聞配達 謎の客馬車夫 血眼の捜査及ばず

於へて五日午後左の と見たので部内手續 の音幹事會で最後的 大臣秘書官

がに基言電業新京支店では ため或る程度の電力節約は れるのである、からした情 れるのである、からした情 會の援助を求め 殺需要家にあつても富号の萬全を期して首警、商工会 力を懸頼しつくあるが、一

のため貯藏炭の使用を徐儀・新京發電所使用炭の入荷減 電業社員總動員 石炭人手に萬金を期するこ 慣れぬ石炭運びに汗だ てみる一般的

杉江氏に學位 (東京関通) 警顧廳細衛檢 査所員杉江楽太郎(四三) 低はこの程見事響學博士の 境位を獲得, 近く設立され る滿洲関立響科大學の細菌

とになった

及査陣、虎穴を衝

長嶺、長春兩縣下へ出

気味な捜査本部に五日午後 のギやング捜査だけに焦り 首都警察廳の面目を賭けて のる 14まけに焦り である 14まれけに焦り 富士町事件有力な聞

十名はモーゼル拳銃を腰 しい武装を施してトラッ の一豪で粉雪降しきる中 を先づ長厳縣○○地路へ を光づ長厳縣○○地路へ 鐵北の土 八時間餘經つ。富士町ギャ

五百日午前一時頃長春縣 物色現金二十餘圓を張之人を 地上たとの情報につい家中を が近に関の中を が五千四百百日本部 大檢索

自動

赤組に凱歌ノ

小審者四名を同行

場居堂製業香・筆墨・み

吉斯町一丁目離話

四七七〇以

5.

9

茶園

率融劍道大會

一の盛典を説 滿鐵精神を作興

氣・き・天・け・ 一級段者より試合

最高零年二度入

新京永昌路六二一(國務院横)

話③五九四九天

滿洲國民代表隨員決定 百 年を壽ぐ

た蔡外

龜山を經て十五典に参列後奈良

へ後六時五十分橿原神宮組 と同列車で出渡、九日宮 経て十五日年前十一時四 十二分南列車で開渡、九日宮

五日職員會の決議を以て政 を活用せしむる事が物資館 手段であるとの考慮の下に 手段であるとの考慮の下に

城関通』五日午前十一時ご朝鮮窒素工場出火 【京

一般常局へ陣情することにな

光榮に感激

節

高梁混

蔡外務局長官談

幣渣 外務局長穂書官

の住節に 百年式典に晴れの滿洲國 總務應官房 總務應官房 收野 安一 代表打合會 宮崎兩神宮で紀元 啓之 張司法相をはじめ階員一般 一年をはじめ階員一般 一年をはじめ階員一般 一年を表示に集合(張司法相 とも 一年を表示に集合(張司法相 一年を表示を与けた な神吉同事務長のと旅程 を神吉同事務長のと旅程 を神吉同事務長のと旅程 が合せを遂げた、なほー 打合せを遂げた、なほー 打合せを遂げた、なほー では七日午後新京神社、 忠監塔に奉告参拝をなし 同日午後六時五十分新京 ので式場へ直行する 代表團日程

日午後六時五十分新京發機原神宮派遣代表團は七 七日夕出

せてくれと頻まれたがいち訪日の感想を知らた時、宇垣朝鮮總が大同二年最初の渡日を大同二年最初の渡日を大同二年最初の渡日を大同二年最初の渡日を

の如く語つ

が注射の完璧をなしたもの 防注射の完璧をなしたもの スに難つたといふことが時もので、從來注射後もチブスワクチ

敷島高女生の除雪作業

感激の

奉仕

いので店主より中央通署保 は一日の公休日に外出した は一日の公休日に外出した

行マ

(三一) 兩君

安係へ捜査方願ひ出た

物資配給の

金の一部として寄贈した にと一萬圓を後接會事業査 にと一萬圓を後接會事業査

貿易統制改正合によつて日一られてゐるので新京南工公政府貿易統制追加品目並に「しめるかの如く一般に傳へ に十二月八日後令の満淵園 需品會社をしてそれに當ら地の滿闢支向輸出調整並び 一元化が企働され、生活必昨年九月二十八日、日本内 本から滿洲への輸入ルート 商工公會職員會の決議

圓滑化を陳情 除雪率仕を行ひ參詣者を感が各自箒を手に汗を流しての制服の乙女たち三十餘名の制服の乙女たち三十餘名 赤心行為であた 海心行為であた 本心行為であたがこれは竹田教 が心行為であた

生活必需温室証券事監察役 生活必需温室証券事監察役 中をにあ三日東京市大森區 南千東町一四二の自宅で死 京千東町一四二の自宅で死

七六、 三二等 一二等 金 養表

三等 一名 百圓也 三等 一名 百圓也 一等 一名 五拾圓也 一等 一名 金拾圓也 一等 一名 金拾圓也 一等 一名 金拾圓也

滿鐵新京支社

御建土場 新星の御方は十五 昭

き込み

華運轉手入用

1月二日新京日日新聞掲載の我等 に月二日新京日日新聞掲載の我等 に有事は誤りに付右取消申候 を事は誤りに付右取消申候 を事は誤りに付右取消申候 內地人 品行 技術者を求む 地人 三十歳未満行方正確實なる保證人を要す

新聞の御中込は電話③三三〇〇番 十百順天十二學校附近

行

東等参列しめやかに執行さ 高局長以下局員關係機關代 場局長以下局員關係機關代 場局長以下局員關係機關代 と等参列しめやかに執行さ と等参列しめやかに執行さ

|| || || || || || || ||

7 部品 服洋級高 目 ==

並 移轉廣

同和自動車工

な | ろ成鏡南道映南邑の朝鮮筆京 | 総動負して必死の消火作業 | 察官、消防手のほか工場員 | 察官、消防手の消火作業 | を取り | 所新設

康德七年二

業林會社

電話 ②-五三六二 (連絡課) 電話 ②-1三四三 (配給課) 新京事務所 新京特別市興安大路三〇坂井忠ビル二階

新京特別市安達街七三一和月動車工業株式會 八八(倉) (原務、會計、)

ク圖案懸賞募集

三付銀行名二提へいて簡單二象徴セル國案ヲ募集更ニ依リ今後商業銀行トシ銀行業務開始致シタニ今回薦新京官營取引所信託株式會社ノ營業目的變一、マ 1 ク 募集ノ 趣旨及 要項



るあも倍三の米おは價養築





車発着表

0

あんま

对界

イビスト

0

御

非仕

當度

店は

孙京銀座讀

白

規則書進品 大學 隨 時 授 業



